

## 花草木

### 【ヤマボウシ】

ヤマボウシ（山法師、学名：Cornus kousa subsp. kousa）はミズキ科ミズキ属ヤマボウシ亜属の落葉小高木ないし落葉中高木です。初夏を代表する花木で、花びらのように白く見える総苞片をつけて花を咲かせます。

山林などに自生する木ですが、花、実、紅葉が観賞の対象になるので、街路樹や庭木としても植えられています。原産は日本、中国（漢名は「四照花」）及び朝鮮半島ですが、現在では多くの国で親しまれています。庭木として人気の高いハナミズキ（別名アメリカヤマボウシ）は本種の近縁種にあたります。

果実は直径1～2センチほどの集合果で、長い柄に垂れ下がります。9～10月に赤く熟した果肉は柔らかくて甘みがあり、野生の猿は好んでこれを食べるようです。人も、生食、果実酒、ジュース、シロップとして飲食できるとのこと。果実の形がクワに似るため、ヤマグワという別名もあります。

和名ヤマボウシの由来は、中心に多数の花が集まる頭状の花序を法師（僧兵）の坊主頭に、花びらに見える白い総苞片（そうほんへん）を白い頭巾に見立てたもので、「山に咲く法師」（山法師）を意味するといわれているそうです。

ヤマボウシの花言葉は、「友情」



大阪市内の公園で見つけたヤマボウシの花

## 我が署のスタッフ 岡山森林管理署

伊藤 由希 (いとう ゆき) (R4年度採用)

### 【現在取り組んでいる仕事は？】

業務グループに属しており、経営担当として主に立木販売や副産物の販売に携わっています。上司や先輩方に教えていただきながら、保安林等の規制下において、国有林で皆伐を行うための一連の流れを学ぶことができました。相手方へ丁寧に対応できるよう業務に取り組んでいきたいです。

### 【職場の雰囲気は？】

和やかな雰囲気です。分からないことを質問しやすいです。丁寧に教えてくださるので勉強になります。

### 【林野庁の魅力は？】

現場へ行き、自分の目で確認して考えて仕事ができる点、現場の第一線で働く業者の方からの意見を聞くことができる点です。現場で得た情報を共有しどのように管理していくかを皆で考え、森林を次の世代へつないでいくことにやりがいを感じます。



3次元地上レーザスキャナによる立木調査の様子

## 森林事務所等紹介

### 倉吉森林事務所（鳥取森林管理署）

首席森林官 山田 邦彦（やまだ くにひこ）

倉吉森林事務所は鳥取県中部に位置し、管轄区域は県中部の倉吉市・三朝町・湯梨浜町・北栄町・琴浦町で、所在する国有林9団地（約6,000ha）、官行造林6団地（約300ha）を管理しています。

管内は特色のある国有林が多く、古くは山岳仏教の聖地で、後醍醐天皇が隠岐を脱出して潜行したとされる船上山国有林、日本の滝100選に選ばれている大山滝がある本谷奥国有林、溪谷美が美しく史跡、名勝及び天然記念物に指定されている小鹿溪がある中津国有林などがあります。



船上山国有林



大山滝

事業では、森林の持つ公益的機能の発揮や木材を安定供給するため、令和6年度は生産事業として伐倒（保育間伐含む）7,680 m<sup>3</sup>、素材生産2,560 m<sup>3</sup>、造林事業として植え付け・地拵えを4.83ha 予定しています。

また、海岸部には松林が美しい汐川前国有林があり、飛砂防備保安林として、地域住民の生活にも役立っています。

しかし、汐川前国有林を含む海岸付近の松林は、近年、松くい虫により甚大な被害が発生しています。

当国有林では、松くい虫被害を防ぐため、薬剤の樹幹注入を4区域に分け、区域ごとに毎年順番に実施しています。

樹幹注入の効果は高く、ごく少量の枯れはみられるものの緑豊かな松林が維持されています。



汐川前国有林の松林



樹幹注入

このほか、管内には国有林以外の観光名所として、国内有数のラジュウム含有量を誇る三朝温泉、日本一危険な国宝として有名な投入堂、某探偵アニメで有名なふるさと館など見所が沢山ありますので、鳥取県に観光でお越しの際は中部地方もご検討ください。

県中部の玄関口（倉吉市）にてお越しをお待ちしています。

# シリーズ『国有林最前線！』

## 航空レーザ計測を活用した森林資源情報把握の取組

### 福井森林管理署

森林資源の情報を把握することは、森林計画の策定、森林施業、路網整備等を実施するうえで極めて重要なことです。

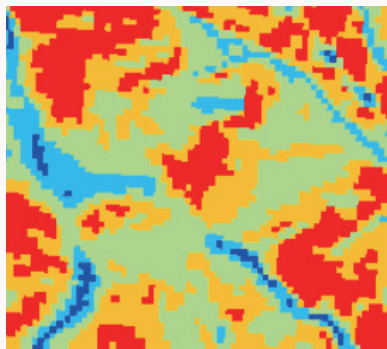
これまで、森林資源の情報を把握するには、森林調査簿や収穫調査等のデータを活用していましたが、福井森林管理署では、令和6年度から航空機が照射するレーザを利用した「航空レーザ計測」、そのデータを解析することで得られる、樹種、樹高や地形などの高精度な3次元データの取得を進め、これらのデータも併せて活用していく予定です。

なお、データ取得と解析の実施にあたっては、効率的に進めるため、福井県と協力して民有林と国有林を包括する区域ごとに一体的に行います。

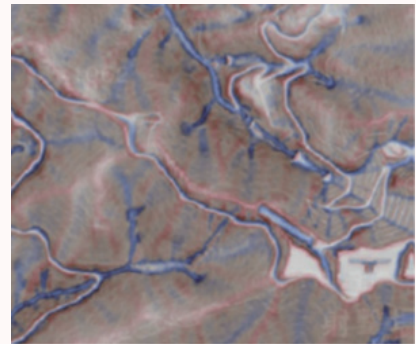
航空レーザ計測は、航空機に搭載したレーザスキャナから地上に向けてレーザ光を照射し、地表面や、樹冠表層を3次元で計測するもので、その計測データを地形解析し、傾斜区分図<sup>※1</sup>、微地形図<sup>※2</sup>等の作成を行うことで、細かな地形を判読でき崩壊地、崩壊危険箇所、地滑り跡地に加え、既存路網も把握できるため治山対策や路網整備に活用できます。また、森林資源解析で林層区分図<sup>※3</sup>等を作成し、スギ、ヒノキ、広葉樹等の樹高、立木密度、胸高直径、材積等の森林資源情報を把握することで森林計画の策定、森林施業に活用できます。

今後は、これらの新技術を積極的に活用し、森林管理や林業の効率化等を進めて参ります。

※1 傾斜区分図：  
対象地の傾斜を角度毎に区分し図示したもの。(右図)



※2 微地形図：  
地形起伏を分かりやすく強調し、高精度に微地形を表現し図示したもの。(右図)



「森林・林業・木材産業の現状と課題」令和6年3月 林野庁 より引用

※3 林相区分図：樹種や樹冠形状の特徴を図示したものの。(右図下)



「高精度な森林資源情報等の公開について」 林野庁 HP より引用